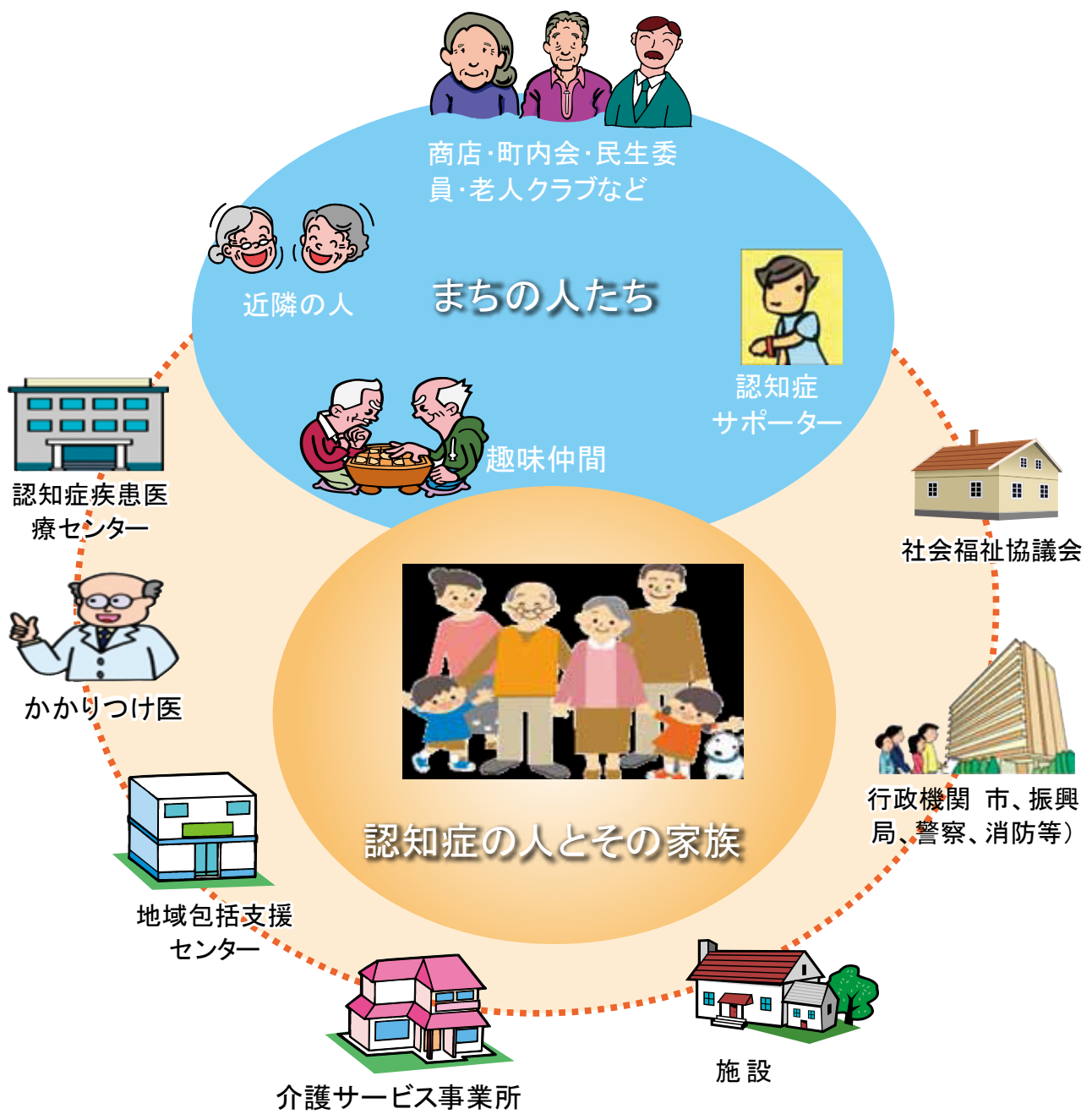


認知症の人とその家族を支える地域づくり

地域支援ネットワーク（イメージ図）



八代市では、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるように、認知症にやさしいまちづくりを目指して様々な取り組みを行っています。



平成21年度 認知症啓発講演会

①地域住民への認知症の啓発・理解促進

- ・ 認知症サポーター養成講座
- ・ 小、中学校へ絵本を配布
- ・ 認知症啓発講演会
- ・ キャラバン・メイトの養成及びフォローアップ研修

※キャラバン・メイトとは、認知症サポーター養成講座の講師で、そのための研修を受けた人です。

②地域資源マップの作成

市内にある店舗・事業所等で、徘徊SOS ネットワークの協力機関をまとめたマップです。

③ 高齢者事前登録制度の整備
徘徊SOS ネットワークの構築

平成23年4月開始予定
詳しくはP15参照。

認知症の人と
その家族など

④認知症の早期発見・予防

- ・ もの忘れ相談手帳及び、もの忘れ受診手帳の作成、配布
- ・ もの忘れ相談プログラムの活用
- ・ かかりつけ医スキルアップ研修



認知症かな？
と思ったら早
めの相談を。
相談先：P6～
11参照。

⑤権利擁護に関する制度の
普及啓発・活用

- ・ 権利擁護研修

成年後見制度、消費者問題、高齢者虐待などに関する研修会です。

⑥認知症の人とその家族の意見交換等

- ・ 家族介護者交流教室

認知症の人を介護している家族の交流教室。
お互いに悩みを相談し、情報交換を行うなど、
話は絶えません。



◆認知症の人やその家族の応援者 「認知症サポーター」になりませんか

認知症サポーターとは認知症を理解して、認知症の人とその家族を温かく見守る応援者です。

何か特別なことをする必要はありません。近くで困っている人がいたら、「お手伝いすることはありますか」「ひと休みされませんか」などの声かけなど自分にできることをします。

八代市では平成20年から認知症サポーター養成講座を開催し、平成22年12月末現在で、7,719名の方が認知症サポーターとなりました。

認知症を正しく理解する人が増えれば、「認知症になっても安心して暮らせるまち」へとつながります。



認知症サポーター養成講座を受けられた方々

(順不同、敬称略)

一般住民、民生委員、老人クラブ、食生活改善推進員、シルバーヘルパー、庁友会八代支部、老人会、婦人会、家族会、家族介護者、ふれあい委員、いきいきサロン、しらぬい保育園保護者、地区総社協、そよ風サロン、地域健康づくり推進連絡協議会、とら太の会、シルバー人材センター

ジャスコ八代店、八代市商工会女性部、九州ガス株式会社、一灯苑、伊達整形外科医院、高野組、行楽園、ハピネスケア日南、勝寿会、デイサービス陽向、社会福祉協議会、あさひ園、神園交通、やすらぎ、小規模多機能ブロッサム、アリゾノグループ、昭和ケアサービス、メルシャン株式会社八代工場、安寿の里、九州東邦、松岡内科クリニック、よろこびの里、かがみ苑、向春苑、シラサギ

松高小学校、八千把小学校、秀岳館高校、第四中学校、中九州短期大学、熊本高等技術訓練校、八代看護学校

熊本県（八代地域振興局、八代警察署、警察本部交通部高速道路交通機動隊、い業研究所）
八代広域行政事務組合、八代市役所 など

(平成22年12月末現在)

認知症サポーターになりたいと思った方は

八代市及び八代市地域包括支援センターでは随時認知症サポーター養成講座を開催しています。また、10人程度以上の団体で受講を希望される場合は、お気軽にご相談ください。

養成講座の内容は、認知症の症状、認知症の人やその家族の気持ち、対応の心がまえなどで、時間は60～90分程度です。



認知症サポーター養成講座の
お問い合わせ、ご相談は

八代市長寿支援課 33-4436
八代市地域包括支援センター（6ヶ所）
P8～9参照

ご利用
ください!

「高齢者事前登録制度」 「やっちろ認知症応援ネットワーク」

平成23年、4月開始

(八代市徘徊SOSネットワーク)

◆高齢者事前登録制度とは

不測の事態に備えて、徘徊の心配がある高齢者を家族等の希望により事前に登録し、警察署や八代市などが情報を共有しておきます。

そして、万が一、行方不明となった場合にはやっちろ認知症応援ネットワーク協力機関に情報を提供し、早期発見・保護に活用されます。

◆やっちろ認知症応援ネットワークとは

認知症などにより外出したまま家に戻れなくなるなど、行方不明となった高齢者を警察と連携し、認知症応援ネットワーク協力機関、市などが行方不明者の早期発見、保護に協力するためのシステムです。

ご家族などが行方不明となった時は、早めに警察署に相談しましょう。



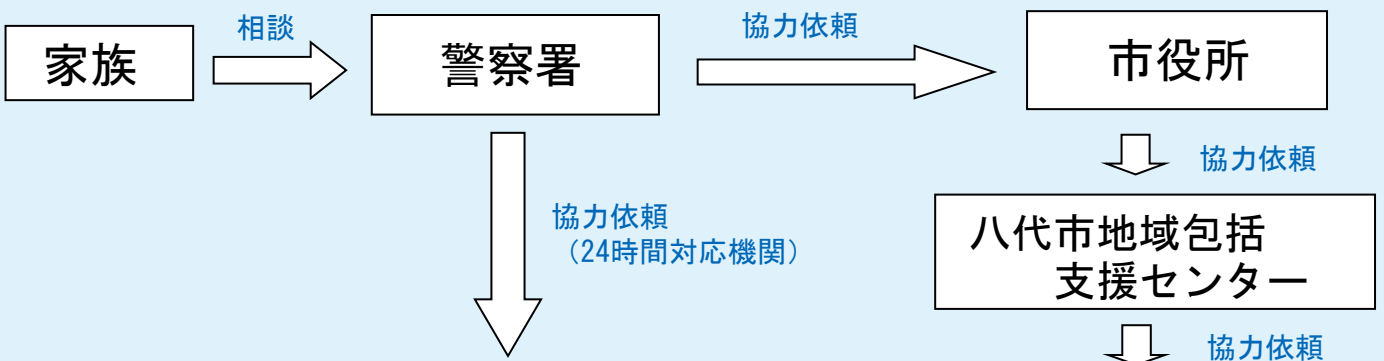
◆やっちろ認知症応援ネットワークの概要

< 平常時 >

協力機関は徘徊しているらしき高齢者を見かけたときは、見守りや声かけを行います。

< 行方不明者発生時 >

ご家族から警察署へネットワーク利用の申し出がありましたら、市役所、八代市地域包括支援センターを通して、認知症応援ネットワーク協力機関へ行方不明者の情報が伝えられます。これらの協力機関は捜索活動はしませんが、日常業務の中で行方不明者の早期発見、保護に協力します。



認知症応援ネットワーク協力機関 (店舗・事業所等)

【高齢者事前登録制度、やっちろ認知症応援ネットワークのお問い合わせ、ご相談】
市役所長寿支援課、支所市民福祉課又は健康福祉課 (P10)、
八代市地域包括支援センター (P8~9)、あんしん相談センター (P7)